

草津市基盤施設指定管理者選定評価委員会議事概要

開催年月日	令和5年12月20日(水)	開催時間	午前9時から午前11時まで
出席者	①委員4名、施設担当職員4名、事務局4名、申請者 ②委員4名、施設担当職員4名、事務局4名、申請者		
傍聴者	①0名 ②4名		
付議事項	指定管理者の候補者の選定に係る意見を求めることについて ①「ロクハ公園、ロクハ公園駐車場、児童遊園その他都市公園」の指定管理者の候補者の選定 ②「水生植物公園みずの森」の指定管理者の候補者の選定		
<p>1 開会</p> <p>2 ①「ロクハ公園、ロクハ公園駐車場、児童遊園その他都市公園」の指定管理者の候補者の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課より施設概要等説明 ・申請者プレゼンテーション ・質疑応答 ・審査・採決（非公開） <p>②「水生植物公園みずの森」の指定管理者の候補者の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課より施設概要等説明 ・申請者プレゼンテーション ・質疑応答 ・審査・採決（非公開） <p>3 事務連絡</p> <p>4 閉会</p>			

◆令和6年3月31日で指定期間満了を迎える施設において、申請のあった団体（以下「申請者」という。）が指定管理者として適任かどうか審議を行った。

①「ロクハ公園、ロクハ公園駐車場、児童遊園その他都市公園」

1 担当課説明

(1) 施設の概要等

ロクハ公園は、草津市追分七丁目に所在しており、9施設を兼ね備えた約13haの総合公園である。また、ロクハ公園に付随してロクハ公園駐車場があり、約400台の駐車が可能である。また、その他にも市内の児童公園等も指定管理施設に位置付けており、街区公園や緑地、緑道、児童遊園を合わせて約33haの面積となる。

(2) 募集概要等

募集方法は公募によるもので、指定期間は、令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間。

(3) 募集結果

申請者 1団体

(4) 採決方法

各委員の採点結果を参考に、候補者を選定する。

2 申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

◆草津市都市公園等指定管理共同体（以下「共同体」という。）による申請内容の説明：略（以下 質疑応答）

<委員（以下「委」という。）>：水難事故に関する研修や訓練は実施されているのか。

<共同体>：事前研修という形でAEDの使い方を学ぶことに加え、お客様がおられない時間帯に実施訓練などを行っている。また、このような訓練は1回では意味が無く、何回も繰り返し、体が自然に動くまで行う必要があると考えている。

<委>：「公益財団法人草津市コミュニティ事業団」、「草津造園協同組合」、「株式会社サンアメニティ大阪」が一緒に指定管理者として施設の管理運営を行うことのメリットは何か。

<共同体>：これまでも指定管理者として6年間施設の管理運営をしてきた実績があるが、それ以前は、公益財団法人草津市コミュニティ事業団が指定管理者としてロクハ公園等の管理運営をしていた。その際は、委託先として草津造園協同組合や株式会社サンアメニティが関わっていたが、それぞれの得意分野を持ち寄って指定管理者として三位一体として管理運営する方がメリットがあると判断し、このような形になった経緯がある。また、ロクハ公園と隣接するロクハ荘の指定管理者としても公益財団法人草津市コミュニティ事業団、株式会社サンアメニティが施設の管理運営をしていることから、近隣施設との連携がとりやすいというメリットもある。

<委>：光熱水費の削減が提案されていたが、収支計画書では3年間同額とされている。その理由は何か。

<共同体>：光熱水費については、公益財団法人草津市コミュニティ事業団として他の施設も複数管理しているため、複数施設を合算で契約することにより、より安い料金で契約できているというものである。

<委>：今年度からドッグランの運営を開始しているとのことだが、人が集まる場所に

犬がくることに関して気を付けていることはあるか。また、最大1時間につき何頭までを想定しているのか、受付は先着順なのか。

<共同体>：これまでもリードがあれば公園内は散歩可能であったため、犬を連れて方は多くいたが、残念ながら、人目の少ない時などはマナーの悪い利用者もいた。しかし、ドッグランをすることによって、マナーの良い利用者が増え、利用者同士で注意し合っただけになった。その結果、糞の後始末が悪い事例が格段に減ってきたと感じている。また、ドッグランの受付は先着順としており、最大5頭を想定しているが、利用者の声を聴きながら対応していきたいと考えている。

3 採決

各委員による採点の結果、最低基準点を上回っており、出席委員全員の賛成が得られたことから、指定管理者として「草津市都市公園等指定管理共同体」を候補者とするのが適当であるとの結論に至った。

②「水生植物公園みずの森」

1 担当課説明

(1) 施設の概要等

水生植物公園みずの森は、草津市下物町1091番地に所在しており、蓮やスイレンをはじめ、水生植物を専門に取り扱う全国でも珍しい植物園である。面積は約3,700haあり、大きな鑑賞池3つを含むエリア、温室を含むロータス館エリア、約100台の駐車が可能な駐車場エリアの3つのエリアから構成されている。

(2) 募集概要等

募集方法は公募によるもので、指定期間は、令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間。

(3) 募集結果

申請者 1団体

(4) 採決方法

各委員の採点結果を参考に、候補者を選定する。

2 申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

◆近江鉄道ゆうグループ（以下「ゆうグループ」という。）による申請内容の説明：略
（以下 質疑応答）

<委員（以下「委」という。）>：色々なイベントや企画をされてきたとのことだが、これまでの振り返りはしているか。今後はどうする予定か。

<ゆうグループ>：対象者や年齢層が想定と違ったこともあった。これまでの実施内容と実績は全てデータベースで管理しているため、次回の企画時には基礎データとして参考にし、より皆様に楽しんでいただける機会を提供できるよう努めている。

<委>：平成28年に蓮群落の消滅があったと思うが、その要因は何か。またどのように克服してきたのか。

<ゆうグループ>：蓮群落の消滅は非常にショックな出来事であり、その要因については草津市でも調査されたが、根本的な要因が分からなかった。また、蓮については、

消滅する前から園内で栽培しているため、消滅以降は栽培数を増やし、「ハスいっぱいプロジェクト」などを行いながら、市民の皆様や子どもたちに楽しんでもらえるよう努めている。

<委> 今後、料金の値上げを検討していくとのことだが、物価高騰の影響があるため仕方がない部分もあると思うが、実際はどの程度値上げするとカバーできる想定か。

<ゆうグループ> : 現時点で、いくら値上げしたらカバーできるか具体的な数字は言えないが、物価高騰の影響により、1本の花を買うにしてもこれまでの金額では買えなくなっている。しかし、水生植物公園みずの森は花の公園であるため、花がたくさん無いとお客様に来ていただけない。そのため、値上げした分については、全て園に還元させていただいて、花などを充実させることで更にお客様に来ていただくことを考えており、全体の利益アップに繋がりたいと考えている。

<委> : 外国人観光客に対する配慮はどのようなものがあるか。

<ゆうグループ> : 現在は、英語表記と部分によっては中国語表記もあるが、今後は中国語表記を園全体に広げていきたいと考えている。また、最近はコミュニケーションをとれるようなツールやアプリもあるため、インフォメーションにて案内できるようにしていきたいと考えている。

<委> : 定期的に樹木医による技術指導をしているとのことだが、これは有償か。

<ゆうグループ> : 社内にも樹木医が数名いるため、その者による対応をしているが、より専門的な樹木医を外部から呼ぶ場合は、有償で来ていただく。

3 採決

各委員による採点の結果、最低基準点を上回っており、出席委員全員の賛成が得られたことから、指定管理者として「近江鉄道ゆうグループ」を候補者とすることが適当であるとの結論に至った。